

新林だより



2023年（令和5年）度
学校づくりアンケート特集号
2024. 3. 15（金）

朝晩の冷え込みはまだまだ厳しいものの、木々の芽が膨らみ始め、季節は春に向かっていくことに気づかされます。

今年度の授業日数も残りわずかとなり、各教室ではそれぞれの学年の総仕上げに取り組んでいます。今週はじめは久しぶりに体調を崩し欠席をする児童が増えました。体調管理をしっかりとし、元気に今年度のラストを締めくくってほしいと思います。

さて、本校の教育活動をより良いものにしていくために、今年度も3年・5年児童と保護者、教職員を対象に「学校づくりアンケート」を実施いたしました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございます。以下にアンケートの結果と考察についてご報告いたします。

1. 実施したアンケート

2023年度 学校評価アンケート 結果一覧

3年・5年児童（回答数 3年 97名 5年 96名）											
項目		質問内容		A	B	C	D				
明るく元気な子	1	先生や友だちにあいさつをしている	3年	45	46.4%	38	39.2%	13	13.4%	1	1.0%
			5年	22	22.9%	35	36.5%	8	8.3%	1	1.0%
よく考え進んでする子	2	学校や学級の決まりを守っている	3年	43	44.3%	42	43.3%	10	10.3%	2	2.1%
			5年	44	45.8%	43	44.8%	9	9.4%	0	0.0%
よく遊びよく学ぶ子	3	学校は楽しい	3年	65	67.0%	22	22.7%	7	7.2%	2	2.1%
			5年	58	60.4%	26	27.1%	10	10.4%	2	2.1%
	4	学校の勉強は楽しい	3年	44	45.4%	35	36.1%	12	12.4%	5	5.2%
			5年	29	30.2%	48	50.0%	14	14.6%	5	5.2%
助け合いがんばる子	5	友だちと仲よくしている	3年	69	71.1%	24	24.7%	2	2.1%	1	1.0%
			5年	72	75.0%	18	18.8%	4	4.2%	0	0.0%
	6	友だちとお互いに注意したり助け合ったりしている	3年	46	47.4%	36	37.1%	10	10.3%	3	3.1%
			5年	49	51.0%	39	40.6%	7	7.3%	1	1.0%
はたらく子	7	係や当番の仕事をいっしょうけんめいやっている	3年	66	68.0%	25	25.8%	3	3.1%	3	3.1%
			5年	54	56.3%	37	38.5%	4	4.2%	0	0.0%

3年・5年保護者（回答数 3年 71名 5年 59名）											
項目		質問内容	学年	A	B	C	D				
学習	1	学校は、子どもに基礎的・基本的な学力をつけようと努めている。	3年	35	49.3%	32	45.1%	4	5.6%	0	0.0%
			5年	31	52.5%	22	37.3%	4	6.8%	0	0.0%
生活	2	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。	3年	47	66.2%	21	29.6%	2	2.8%	1	1.4%
			5年	31	52.5%	23	39.0%	3	5.1%	2	3.4%
相談	3	学校は、保護者が相談できる体制を整えている。	3年	28	39.4%	34	47.9%	5	7.0%	4	5.6%
			5年	19	32.2%	31	52.5%	8	13.6%	1	1.7%
安全	4	学校は、防災や防犯など、子どもの安全確保に努めている。	3年	28	39.4%	40	56.3%	2	2.8%	1	1.4%
			5年	21	35.6%	31	52.5%	7	11.9%	0	0.0%
情報	5	学校は、適切に情報提供を行っている。	3年	27	38.0%	28	39.4%	12	16.9%	4	5.6%
			5年	15	25.4%	35	59.3%	8	13.6%	1	1.7%
情報	6	学校は、学校公開や行事等、保護者や地域の人々が参観する機会を設けている。	3年	46	64.8%	20	28.2%	4	5.6%	1	1.4%
			5年	37	62.7%	19	32.2%	3	5.1%	0	0.0%

※それぞれの質問に、A よく当てはまる B やや当てはまる C あまり当てはまらない D 当てはまらない のいずれに該当するかで答えてもらっています。数字は%です。

2. アンケートの集計から

3年生と5年生の児童には本校の重点目標にかかるアンケート調査を行い、3年生97名と5年生96名の回答を集計しました。数字は%です。

(1)「先生や友だちにあいさつしている」については、概ね挨拶の習慣ができていると考えられますが、Cと回答している数も一定数あるため、今後も挨拶の大切さを子どもたちに機会を捉え指導していきます。また教職員も意識を持ち、積極的に挨拶をしていくことに努めます。(2)「学校や学級の決まりを守っている」については、3, 5年生ともに守れているという割合が高く、5年生のD回答はありませんでした。引き続き規範意識を高めていけるよう学校全体で指導していきます。(3)「学校は楽しい」(4)「学校の勉強は楽しい」については、(3)の高さに比較して(4)の回答のAが低くなっていることが課題と捉えます。学習の難易度が上がっても楽しいと思える学び作りや評価について考えていきます。(5)「友だちと仲良くしている」については、3, 5年ともに9割以上の児童がABに回答しており、学校で友だちと仲良くしようとしている児童がほとんどであることがわかりました。引き続き関わりを大切にした活動を実施し、子どもたち同士が良好な関係を築いていけるよう取り組んでいきます。(6)「友だちとお互いに注意したり助け合ったりしている」については、他の質問よりもAの割合が低いことが例年の課題でしたが、今年度は約半数の児童がAと回答しました。今後とも、友達の良いところを認め間違っことは正せる良好な関係づくりを進めていきます。(7)「係や当番の仕事をいっしょうけんめいやっている」の回答からは、仕事に対して責任を持って取り組もうとしていることがわかります。今後も子ども達が活躍できる場を与え、自己有用感を育み、自ら進んで行動できる子を増やす取組を行っていきます。

保護者アンケートには3年生、5年生の保護者の方に回答をいただきました。昨年度に引き続き事前にアンケートご協力のお便りを配付しGoogleフォームでの回答をお願いしました。3年生で71名、5年生では59名の方にご回答いただきました。

いただいた回答はABが多く肯定的なご意見が多いとも捉えられますが、「学習」や「生活」についてはAが多いものの、「相談」「安全」「情報」の一部についてはB評価の方が多く改善の必要を感じました。「相談」については、様々なケースに対応できる相談体制の充実とその周知に努めてまいります。「安全」についての教職員自身の評価は一番高く、今年度丁寧に取り組んできたところです。今後も有事に対応できる安全教育の推進に取り組んでいきます。また学校での取組をしっかりと家庭にお伝えすることに努め、学校と家庭の両方で自分の命を自分で守れる子どもを育てていきたいと考えます。

5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し多くの制限がなくなったため、保護者の方には様々な場面で子どもたちの様子をご覧いただけるようになりました。今後も学校は子どもたちが楽しい学校生活を安心して送れる教育活動を展開し、合わせて学校からのわかりやすい情報発信と教育相談の充実にも努めていきます。

教職員についても今年度の教育活動について、「学習」「生活」「相談」「安全」「情報」の項目ごとに自己評価を行いました。今年度学校経営案の中で努力点とした「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、指導と評価の一体化に取り組んでいる」についてはA評価が

50%でC評価の回答もありました。今年度、指導と評価の学習会を校内で行い、時間をかけて「あゆみ」の改訂について検討しました。子どもたちが身につけた力をどのように評価し自信や意欲につなげていくのか、引き続き考える必要性を感じてのアンケート結果だと思いますので、今後も取組を続けていきます。「生活指導上の問題の早期発見、対応に組織的に努めている」については、A評価が一番多かったもののB,Cに回答した職員もいます。日頃からチームでの丁寧な対応を心がけ実施しているところですが、教職員に欠員が生じている中で全校の支援体制を充実させる厳しさの現れかもしれません。今後とも児童に係る課題への迅速かつ的確な対応を組織的に行えるよう努めていきます。

学校評議員の皆様にもアンケートの結果をお示しし、ご意見をいただきました。

児童のアンケート結果で、学校の勉強が楽しいと思えない子がいることから、楽しめる授業の工夫にさらに取り組む必要性をご指摘いただきました。

今年度の活動内容や学習については、運動会や2回にわたる全校の授業参観を経てご意見をいただきました。まずは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための制約がとれたことで様々な教育活動が可能になり、全校児童が一緒になって活動できることのうれしさをわかってきたのではないかと、今年度の学校の取組を高く評価していただきました。また、「児童達が楽しそうに活動して微笑ましく感じた。」「学年によってそれぞれ授業の仕方が工夫されていて良かった。子どもたちが大らかに授業を受けている。」などの感想もありました。「コロナ禍以前に行っていた谷戸探検など野外の活動も復活させてほしい。」というご意見もありました。隣接した新林公園はもちろん、それ以外にも近隣に教育資源がまだまだある地域です。本校の教育課程の中で子どもたちの生き生きとした学びのためにどのような活動を実施していくのか、次年度以降検討していきます。また、「働いている教員がキャパオーバーにならないよう保護者にもっと協力を依頼するなどしても良いと思う。」というご意見もいただきました。これについては、今年度初めて保護者と教職員の会で保護者ボランティアの募集をしていただき、ミシン実習のサポートやカーテン洗い、図書書の整理・修理、校庭清掃等、たくさんの場面で活動していただき大いに助けていただきました。今後も継続した取組としていきたいです。

今回のアンケートの結果やいただいたご意見をもとに、来年度も「笑顔輝く新林小学校」を目指し、教育活動を展開してまいりたいと思います。

今年度も保護者の皆様や地域の方々には、いつも学校へのご理解とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



★来年度の「あゆみ」変わります！

社会の変化はめざましく、現代は小さな子どもでさえもコンピューターを操る世の中になりました。これからの社会を担っていく子どもたちには、ただ知識を詰め込むのではなく、学びに向かう力を育て、得られた知識や情報を活用する能力を養うことが大切になってきます。

現行の学習指導要領では、

- ①「知識及び技能」の習得（何を理解しているか、何ができるか）
 - ②「思考力・判断力・表現力等」の育成（理解していること・できることをどう使うか）
 - ③「学びに向かう力・人間性等」の涵養（どのように社会・世界と関わりより良い人生を送るか）
- の3つの柱を子どもたちに育てたい力として示しています。

*「学習指導要領」・・・全国どこの学校で教育を受けても、一定の教育水準を確保するために、各教科の目標や内容などを文部科学省が定めているもの。各学校はそれに基づいて教育活動を行っています。

本校では、学習指導要領改訂以前より「主体性を持って取り組む子の育成」をテーマに校内研究に取り組み、日々の授業づくりを行ってきました。また、子どもたちが身につけた力をどのように評価していくのか、ご家庭にどのように知らせていくのかを検討してきました。

その結果来年度より、ご家庭にお届けする「あゆみ」の各教科の評価の表記方法を変更することといたしましたのでここにお知らせいたします。

・評価の表記方法が全教科3観点での評価に変わります。

- ①知識・技能
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

・3観点別に1，2年は「できた」と「もう少し」の2段階、

3，4，5，6年は、「よくできた」「できた」「もう少し」の3段階で評価します。

*学校としては「できた」を学習の目標としているため、特に優れている場合のみ、「よくできた」といたします。

「あゆみ」は、各教科の評価に加え、所見欄などを通して、子どもたちの様子を家庭にお知らせするもの、そして一人ひとりの努力を認め励まし、やる気を高めるものと考えております。ご家庭でもお子様のより良い成長に役立てていただけますようお願いいたします。

なお、評価の詳細や「あゆみ」の見方、ご家庭で取り組んでいただきたいことなどについては、新年度にお知らせいたします。

<4月の主な行事予定>

- 5日（金）着任式、始業式、入学式
- 10日（水）2～6年 給食開始
- 12日（金）1年懇談会
- 17日（水）2，3，4年授業参観・懇談会
- 18日（木）6年 全国学力・学習状況調査
- 19日（金）1年 給食開始
- 26日（金）5，6年授業参観・懇談会

※現時点での予定であり、変更になる場合もございます。

詳しくは4月の学年だよりでご確認ください。

